

青少年と出会い系サイトに関する調査研究報告書

平成15年3月

インターネット上の少年に有害なコンテンツ対策研究会

インターネット上の少年に有害なコンテンツ対策研究会
構 成 員

代 表

苗 村 憲 司 慶應義塾大学環境情報学部教授

委 員

磯 野 爽 (社)日本 PTA 全国協議会前マスメディア調査委員

小河原 昇 アルプスシステムインテグレーション(株)常務取締役

小 田 啓 二 日本ガーディアン・エンジェルス理事長

国 分 明 男 (財)インターネット協会副理事長

後 藤 弘 子 東京富士大学経営学部助教授

関 靖 直 文部科学省スポーツ・青少年局青少年課長

別 所 直 哉 ヤフー(株)法務部長

松 澤 栄 一 ニフティ(株)法務部課長

無 藤 隆 お茶の水女子大学生生活科学部教授

宮 本 潤 子 ECPAT/ストップ子ども買春の会代表

荒 木 二 郎 警察庁生活安全局少年課長

坂 明 警察庁生活安全局生活安全企画課

セキュリティシステム対策室長 (平成 14 年 6 月 11 日まで)

宮 城 直 樹 警察庁生活安全局生活安全企画課

セキュリティシステム対策室長 (平成 14 年 8 月 23 日から)

事務局

警察庁生活安全局少年課少年保護対策室

はじめに	1
第1 情報通信環境の変化と、少年による「出会い系サイト」の利用	
1 少年を取り巻く情報通信環境の変化	1
2 少年による出会い系サイトの利用状況	1
第2 「出会い系サイト」の概況	
1 対策の対象となる「出会い系サイト」	3
2 サイト数（推定数）	3
(1) パソコン用検索エンジンを用いた調査（平成14年9月調査）	3
ア 調査方法	3
イ 調査結果	3
(2) iモード用検索エンジンを用いた調査（平成14年9月調査）	3
ア 調査方法	3
イ 調査結果	3
3 「出会い系サイト」の分類	4
(1) WEB ページ利用型	4
ア メッセージ取次型	4
イ 単純BBS型	5
ウ ツーショット・チャット型	5
(2) 電子メール利用型	5
ア メッセージ取次型	5
イ メーリングリスト型	5
4 出会い系サイトの営業性	5
5 出会い系サイトにおける特性上の問題点	6
(1) インターネット特性	6
(2) 効率的「出会い」の危険性	6
(3) 児童を性欲の対象とする風潮助長と規範意識の低下	7
(4) 自主的措置の限界	7
6 出会い系サイトの実際の利用方法	7
例1 携帯電話からのみ利用可能な無料サイト	8
例2 携帯電話からのみ利用可能な男性有料のサイト	12
例3 パソコンからでも利用可能な無料サイト	15
7 サイト名称、コーナー名称について	22
(1) サイト名称	22
(2) コーナー名称	22
第3 出会い系サイトに係る問題状況	
1 出会い系サイトに係る事件と犯罪被害の状況	23
(1) 出会い系サイトに係る事件の急増	23

(2) 児童の被害状況	23
【平成14年中の、児童を被害者とする主な事件】	24
2 出会い系サイトを通じた、不正勧誘の状況	
～ 平成14年上半期の児童買春事件からの分析	24
(1) きっかけの圧倒的多数は女子児童からの勧誘	24
(2) 援助交際等の勧誘が大半	25
(3) 単なるメル友募集からも事件に発展	25
3 携帯電話からの「出会い系サイト」利用による犯罪被害状況	26
(1) 「出会い系サイト」を利用した事件の圧倒的多数が携帯電話を利用	26
(2) 被害児童も圧倒的多数が携帯電話を利用	26
第4 出会い系サイトの実態調査	
1 事件で利用された「出会い系サイト」の分析	27
(1) 事件で多用されたサイト調査	27
(2) 事件で多用されたサイトにおける、児童に対する性交等勧誘の状況	29
ア 対償交際名称のサイトの書込み調査	29
イ 対償交際名称を持つ、一般名称サイトの書込み調査	30
2 サイトサンプルからの実態調査	31
(1) 「出会い系サイト」のランキング集からの調査	31
ア サイトサンプルの抽出	31
イ 分析結果と特徴	34
(2) 実際の書込みに対する返信状況の調査	34
ア サイトサンプルの選択	34
イ コーナーの選択	34
ウ 書込みの内容	35
エ 調査結果概要	35
オ 結果から見た分析	36
【資料】	
資料Ⅰ 外国法制（児童に対する性交等の行為への規制）	39
資料Ⅱ 中・高校生に対するアンケート調査結果	45